

## 公益財団法人溶接接合工学振興会 【金澤賞】に関する細則

1. この細則は、故・金澤 武氏の遺志を体し、当財団に「金澤賞」を設け、その施行に関し取り決める。
2. 金澤賞は、毎年1回、溶接接合工学の分野における中堅の技術者、研究者に授与する。
3. 受賞候補者は、本会会員に限らない。  
受賞候補者は、申請年度の4月1日現在、満53歳以下の方とする。
4. 受賞候補者は、本会会員会社及び理事会が認める関連団体並びに本理事会の推薦によるものとする。
5. 受賞候補者については、別に定める審査委員会にて、受賞者を審査する。
6. 受賞者は、理事会の承認により決定する。
7. 金澤賞は、賞状及び副賞を贈呈する。
8. この細則の改廃は、理事会の決議による。

2019年	2月22日	改正
2019年	5月29日	一部改正
2004年	3月24日	制定
2024年	5月14日	一部改正

## 公益財団法人溶接接合工学振興会 【金澤賞】に関する推薦及び選考に関する内規

(候補者)

1. 溶接・接合に関する中堅の技術者、研究者に授与する。

(候補者の推薦)

2. 推薦者は、別に定める推薦書の様式に拠って候補者を推薦する。  
推薦書は電子ファイルとして提出する。
3. 推薦における候補者の業績は、学術論文にはとられないが、業績を明確に判定できること。
4. 特に、多数の技術者、研究者が参画したと思われる業績または貢献の場合は、候補者本人が、主体的な役割を演じたかが判るように示すこと。
5. 候補者の業績では、活動成果の社会に対する貢献をも明確に示すこと。

(選考)

6. 候補者の選考は、理事会が設けた金澤賞審査委員会において行い、選考候補者を理事会に推薦する。
7. 選考においては以下の事項に配慮する。
  - ① 本賞の趣旨に従い、優れた技術の取り纏めやリーダーとしての役割など、中堅の技術者、研究者を対象とする。
  - ② 単独企業内での活動だけでなく、企業間にまたがるプロジェクトにおける活動も含むものとして対象とする。
  - ③ 前年度までの候補者で、次点となった再推薦の候補者に関しては、前年度の評価も勘案して審査する。

(付記)

1. 本規定に記されない事項については、審査委員会において必要に応じその都度決定するが、その内容を理事会において報告しなければならない。
2. 本内規の改廃は理事会の決定による。

2019年	2月22日	改正
2004年	9月21日	制定
2019年	5月29日	一部改正
2021年	11月12日	一部改正
2024年	5月14日	一部改正